



★第76回卒業式

3月16日

高原町長をはじめ、35名の来賓の方々と保護者のご臨席のもと開催することができました。

卒業生72名が学舎を巣立っていきました。特に、〇〇〇〇さんの答辞が素晴らしく、参列者の心に響き、涙、涙の感動的な卒業式でした。

《式辞の抜粋》

今日は皆さんにとって本校を卒業する日であると同時に、変化の激しい21世紀の担い手として、新たな進路へ旅立つ日でもあります。そこで、皆さんの晴れの門出を祝して、数多くの歴史小説を書いた故司馬遼太郎氏の随筆の一部を紹介いたします。

「おかしも今も、また未来においても変わらないことがある。そこに空気と水、それに土などという自然があって、人間や他の動植物、さらには微生物にいたるまでが、それに依存しつつ生きているということである。」著者は、自然界の一部である人間が自然に対する畏れや尊敬の念をもつことで、人間同士も尊敬し合う関係になってほしいと述べ、次のように続けています。「君たちは、いつの時代でもそうであったように、自己を確立しなければならない。一自分にきびしく、相手にはやさしく。という自己を。(中略) 二十一世紀においては、特にそのことが重要である。二十一世紀にあっては、科学と技術がもっと発達するだろう。科学・技術が、洪水のように人間をのみこんでしまってはならない。川の水を正しく流すように、君たちのしっかりした自己が、科学と技術を支配し、よい方向に持って行ってほしいのである。」

今からちょうど三年前、私たちは新型コロナウイルス感染症により、それまでの日常を奪われる未曾有の経験をしました。しかし同時に、世界中の人々が新型コロナウイルスの感染拡大防止に尽力し、励まし合い、支え合う人間同士の強い絆を見ることもできました。著者は、人間は決して孤立して生きられるものではないと述べ、助け合う行動の元には「いたわり」という感情、他人の痛みを感じる心や優しさがあると述べています。本校では、そのことを「利他の心」として伝えてきました。そして、「利他」の気持ちが人々の中に根付けば、他国や他民族への「利他」の気持ちが芽生え、21世紀は人類が仲良く暮らせる時代になるに違いないと言っています。

卒業生の皆さんは、中学入学時から、コロナ禍の影響を大きく受け、各種行事の中止や延期、規模縮小などが繰り返され、マスクの着用や行動制限等の息苦しい生活を強いられました。そういう中でも、不平不満を漏らしたりすることなく、先生方の言葉に耳を傾けていました。皆さんは悔しさ、もどかしさを抑えながら、自分勝手な行動をとることなく、助け合いながら粛々と学校生活を送ってくれました。それこそ「利他の心」の表れだと思っております。

21世紀も23年目に入り、令和の時代を迎えた現在、世界に目を向けると、残念ながら様々な国や地域で対立や紛争が起きています。また、今後は「ソサエティ5.0」と呼ばれる人工知能AIやロボット化が進んだ社会の中、様々な分野でこれまでの常識が通用しない激動の時代を迎えます。

そこで、皆さんには、今まで意識してきた通り「利他」の心、相手の痛みを感じる心、相手を思いやる心を大切にしてほしいと思います。

また、SNS等の情報機器を通して配信される様々な情報に振り回されないように、これからも幅広い知識と教養を身に付けてください。そして、様々な経験を通して、何が正しいのか、何をすべきかを自分自身で考え、判断し、選択する力や、自ら人生を切り拓く行動力を身に付け、豊かな自己実現と平和な社会を築いてくれることを期待しています。(中略)

卒業生72名の皆さんの健やかで輝かしい未来と発展を心から祈念し、式辞といたします。



★卒業生へ手作りコサージュ

高原町地域婦人連絡協議会(会長:丸山千賀様)より、手作りのコサージュをいただきました。一つ作るのにかなりの時間がかかりそうな精巧で美しい物でした。卒業生からも、大好評でした。心のこもったコサージュありがとうございました。



★修了式 3月24日

《式辞の要約》

修了式では、1年生の〇〇〇〇〇さん、2年生の〇〇〇〇〇さんが、「1年間の反省」を述べてくれました。しっかりとした振り返りをもとに、次学年での明確なゴールイメージを発表してくれました。うまくいったこと、うまくいかなかったこと、今後やることが分かりやすく言語化されていました。

私は、学びの取れ高(効果)は『振り返り』で決まる。「経験」をたくさん積みめば、自然と力がつくのではなく、「経験」に「質の高い振り返り」がプラスされることによって、その「経験」が生かされ、確かな学びになっていくことを話しました。修了式は、大切な節目です。この一年をしっかりと振り返って、新学年での目標を立ててほしいと思います。「学ばない子どもは、知らない大人になる」、また「目指すゴール(目標)無き者に、進む道なし」です。新学年での更なる飛躍を期待いたします。

★部活動の活躍

◎男子バレー 3/26 第40回九州中学校バレーボール選抜優勝大会(別府市)

高原中2-1 清水中 高原中1-2 大東中 予選リーグ惜敗

◎女子ソフトテニス 3/19 第12回長野杯ソフトテニス大会(小林市)

中学女子の部 優勝 〇〇・〇〇ペア、準優勝 〇〇・〇〇ペア

◎男子バスケット 3/18・19 NB杯・ツラブ・トナメ(小林市) 準優勝

◎剣道 3/18 県南地区新人剣道大会(三股町) 準優勝

★お礼

令和4年度が終了しました。コロナ禍による息苦しい日々が続く中、台風14号による断水の時期もあり、コロナ禍と天災の重複という未曾有の経験をした一年でした。学校も厳しい状況を強いられましたが、地域の皆様、保護者の皆様の温かいご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。その後、スムーズに教育活動を実施することができ、無事に卒業式、修了式を迎えることができました。来年度は、生徒・保護者、地域の方々にご協力いただいた「学校評価」をもとに、改善策を講じながら、生徒の学力、職員の指導力、学校の組織力を高め、『力のある学校』を目指したいと考えています。また、地域との連携・協働を推進し、『地域に貢献する学校』を目指していきたいと思います。本年度以上に“高原中ファン”を増やしていきたいです。

★4月の主な行事のお知らせ

- 7日(金) 新任式、始業式(給食あり)
- 11日(火) 第77回入学式(給食なし)
- 13日(木) 交通安全教室 県数テ 県英テ(2・3年)
- 14日(金) 対面式
- 18日(火) 全国学力調査 尿検査・心電図検査
- 20日(日)～5月1日(月) 家庭訪問期間
- 23日(日) 参観日 PTA総会
- 24日(月) 振替休業日
- 28日(金) 全校集会、地区別集会

